指導案シートNo.1(授業1回分の設計)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 授業担当者/記入者 |  | 記入日 | 2019年1月7日 |
| 授業予定日 | 2019年5月 |
| 科目名 | フードサービス実習 | 90分 | 時期 | 第7 回目／全15 回 |
| 学習目標 | サーバーを使用してパンのサービスを行う |  |  |
| 理解度確認方法 | ※テストなど　実技テストを実施しルーブリックで点数化 |  |  |
| 事象 | 指導内容 | 時間 | 動画教材 | 動画時間 | フェーズ |
| 1 学習者の注意を喚起する | パワーポイントで4種類のサービスの説明をする。最後に、今回のサーバーを使用したトップスキルの技を見る | 15 | 使用, 不使用, 要検討, その他 | 5 | 導入 |
| 2 授業の目標を知らせる | 口頭で目標を知らせる | 2 | 使用, 不使用, 要検討, その他 |  |
| 3 前提条件を思い出させる | 前回の復習（前回、サーバーを持つ練習を行っている）動画を見てから復習し、持つ練習をする。 | 10 | 使用, 不使用, 要検討, その他 | 1 |
| 4 新しい事項を提示する | パンのサービスのデモンストレーションを行う。動画を見て再度確認する。 | 5 | 使用, 不使用, 要検討, その他 | 2 | 展開 | 情報提示 |
| 5 学習の方針を与える（理解を促進する手法を用いる） | 今回のサーバーの使用方法以外の、サービス方法を伝え、活用に幅があることを伝える | 3 | 使用, 不使用, 要検討, その他 |  |
| 6 練習の機会を作る | 4人1組で練習を行う。何度か練習した後に、動画撮影を行う。サービス：1名　お客様:2名　動画撮影者:1名 | 30 | 使用, 不使用, 要検討, その他 |  | 学習活動 |
| 7 フィードバックを与える | チームで動画を見ながら、学生同士の気づき合いをする。 | 10 | 使用, 不使用, 要検討, その他 |  |
| 8 学習の成果を評価する | 今回、学習したポイントを、○×形式で学科テストを行う。 | 10 | 使用, 不使用, 要検討, その他 |  | まとめ |
| 9 保持と転移を高める | 次回の課題を伝え、サーバーを持つ練習を継続しるように促す。 | 1 | 使用, 不使用, 要検討, その他 |  |

(全専研IDテキスト p.91をベースに作成)

指導案シートNo.2(動画教材の設計)

|  |  |
| --- | --- |
| 動画のタイトル | パンサービス例示 |
| 9教授事象 | 前提条件を思い出させる新しい事項を提示する　練習の機会を作る |
| 動画教材の位置づけ | パンサービスの一連の流れと各フェーズで重要なポイントを解説 |
| 動画の長さ(分) | 2分 |
| 動画教材の学習目標 | パンのサービスを流ちょうに行うことができる |
| 動画教材の目標達成度の確認法 | お客様がパンを選んでから、3秒以内にサーバーを持って、サービスをする |
| 学習事項・要点 | ・パンカゴを持った時の歩き方・お客様へのプレゼンテーションの仕方・サーバーの持ち方・パンの提供 |
| 動画にする際の留意点 | 繰り返し確認できるように、短めにする |
| 動画の活用法(学習者への指示を含む) | ・授業中・復習・授業内外で、何度でも確認するように指示する |
| 動画制作・公開方法 | スマホでYouTubeの動画撮影機能を使用して、動画を収録する。YouTubeに限定公開する。 |
| 公開時期・期間と周知方法 | 動画はYouTube上に公開。授業で学習する時にURLを紹介。公開期間は実施試験が終了するまで。 |
| 動画の見せ方(ストーリーボードは別添) | １パンカゴを持って立つ（パンカゴを持つ際の注意点を解説）２パンカゴを持って歩く（パンカゴを持って歩く際の注意点を解説）３お客様へプレゼンテーションを行う（どのように見せるか、手順と注意点を説明）４サーバーを持ちパンを提供する（サーバーの持ち方を思い出させ、パンを提供する際のポイントを紹介）一つ目のパンは引きで撮影（全体の流れが分かるように撮影）、2つ目のパンは手元をアップで撮影する（サーバーの持ち方を確認できるように撮影） |
| 制作と運用スケジュール | 授業で使用する1ヶ月前には制作。同僚に撮影を依頼する。動画共有のために、紙でURLだけを配布するのではなく、QRコードを用意しておく。 |
| 備考 | 授業毎に使用する動画教材が蓄積されてくると、閲覧したい動画を簡単に探せる仕組みが必要になってくると思う。動画のタイトルを工夫し、授業回と動画の内容を表すタイトルを付けるといいのではないか。 |

指導案シートNo.2(動画教材の設計)

|  |  |
| --- | --- |
| 動画のタイトル | 学生によるパンサービス実演動画 |
| 9教授事象 | 練習の機会を作る、フィードバックを与える |
| 動画教材の位置づけ | パンサービスの一連の流れと各フェーズで重要なポイントを把握した上で、各学生が実際にどのようにパンサービスを行っているか確認する |
| 動画の長さ(分) | 2分程度 |
| 動画教材の学習目標 | パンのサービスを流ちょうに行うために、自分でうまくいっていない点を見つける |
| 動画教材の目標達成度の確認法 | 相互評価で、パンサービスを行う際に、うまくいかなかった点を指摘し、改善点を列挙する |
| 学習事項・要点 | ・パンカゴを持った時の歩き方・お客様へのプレゼンテーションの仕方・サーバーの持ち方・パンの提供 |
| 動画にする際の留意点 | パンサービスの全体の流れ、重要ポイントができているか確認できるように、全体と手元などを中心に撮影する |
| 動画の活用法(学習者への指示を含む) | ・授業中・復習・動画撮影、確認を何度でも繰り返し、自分の上達を認識するように指示する |
| 動画制作・公開方法 | スマホでYouTubeの動画撮影機能を使用して、動画を収録する。YouTubeに限定公開する。 |
| 公開時期・期間と周知方法 | 動画はYouTube上に公開。授業で学習する時にURLを紹介。公開期間は実施試験が終了するまで。 |
| 動画の見せ方(ストーリーボードは別添) | １パンカゴを持って立つ２パンカゴを持って歩く３お客様へプレゼンテーションを行う４サーバーを持ちパンを提供する。このとき、1つ目のパンは全体で撮影し、2つ目のパンを提供するときは、手元をアップして撮影する。 |
| 制作と運用スケジュール | 授業中に撮影手順の紙を説明し、グループで提供者、客、撮影者の役割を持ち回りで行い、全員が提供しているところを撮影する。授業中に動画を見せ合い、相互評価する。 |
| 備考 | 初回、練習後、スムーズにパンサービスができるようになった動画を、そのときに振り返りコメントと共に提出してもらうと、成長の記録を取ることができる。 |